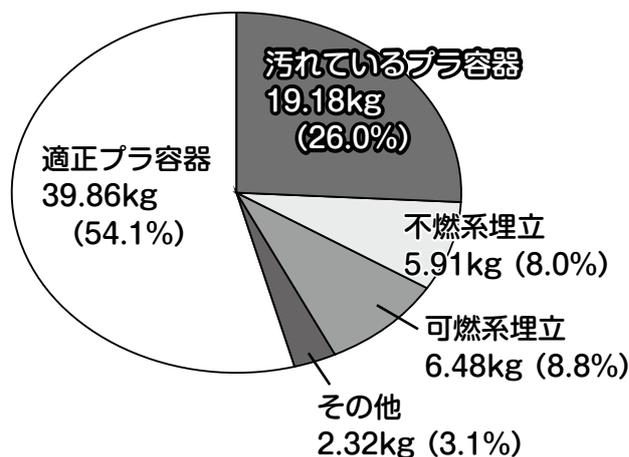


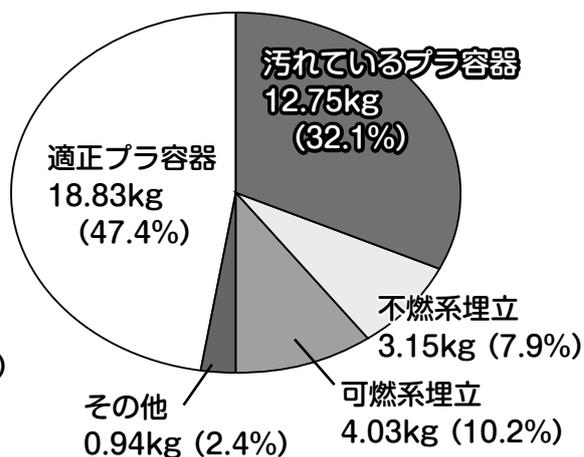
プラスチック製容器、紙製容器の分別状況の調査をしたところ、依然として不適正なものがありました。資源化施設（美・サイクル館）で適正なものに選別していますが、かなりの手間とコストがかかり、ごみ処理費用の増大につながりますので、適正な排出をしてください。

●プラスチック製容器の分別状況（資料提供：留萌南部衛生組合）

3市町全体



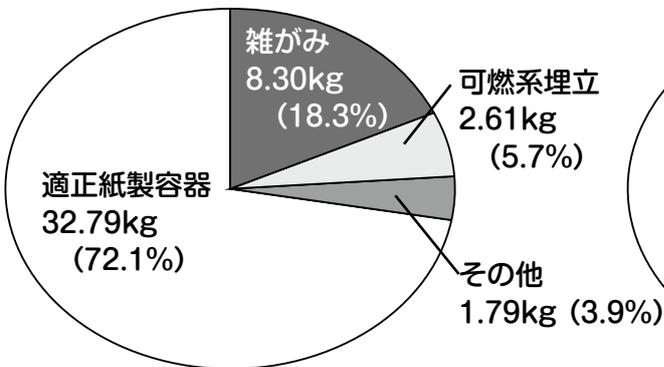
留萌市



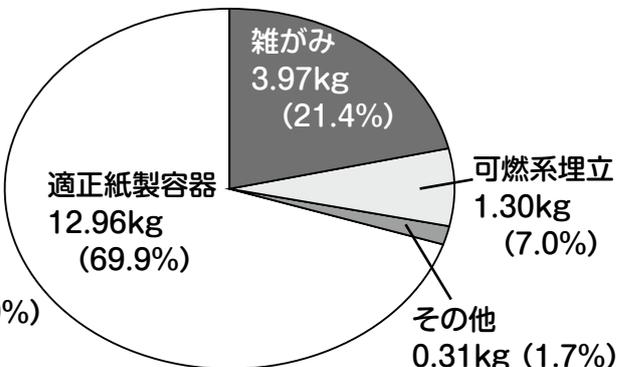
汚れているものが3割近く混入しており、中には全く分別をしていないものもありました。汚れているものは資源にできませんので、水洗いしても汚れがとれないものは、可燃系ごみで排出してください。プラスチック製容器は「プラマーク」がついているものが対象です。

●紙製容器の分別状況（資料提供：留萌南部衛生組合）

3市町全体



留萌市



雑がみが2割近く混入していました。コピー用紙、封筒、手紙、はがき、カレンダーは紙製容器ではありません。雑がみで排出してください。紙製容器は「紙マーク」がついているものが対象です。

透明または半透明袋の使用のお願い

中身の見えない袋を使用しているものがあります。中身が見えないごみ袋を使用すると、一つ一つ中身を確認しなければならず、収集・選別作業に支障がありますので、透明または半透明の袋は「中身が見える」袋を使用してください。白色、乳白色の袋は使用できませんので注意してください。

問 市・環境保全課 ☎ 42-1806

お詫びと訂正 ・ 2013年12月号3ページ「留萌まるごと体験・体感物語」連載記事で、留萌スキー連盟の連絡先に誤りがありました。正しくは090-2076-6750です。お詫びして訂正いたします。なお、スキー教室の申し込みは終了しています。